

専修寺蔵『善信聖人親鸞伝絵』翻刻並びに索引

広島大学学校教育学部日本語史研究会

語彙索引 凡例

一、本索引は、専修寺蔵『善信聖人親鸞伝絵』（二二九五年写、覚如筆）に用いられている総ての語を、複製本（続々日本絵巻大成 伝記・縁起篇1、中央公論社、一九九四年）に基づいて、収めたものである。なお、本絵巻については、千葉県照願寺蔵本の語彙総索引が「鎌倉時代語研究」第十一輯（一九八八年）に発表されている（金子彰・高橋富美子編「照願寺蔵 本願寺親鸞聖人傳繪 総索引稿」）。

一、専修寺本『善信聖人親鸞伝絵』（以下、本資料という）は、親鸞の曾孫覚如（二二七〇～一三五二）の自筆本と見られており、漢字のほとんどに当時の振り仮名が加添されている。しかし、本文と振り仮名とに仮名遣いの違いが見られ（佐藤理絵『善信聖人親鸞伝絵』の国語学的研究）（平成十年度広島大学学校教育学部卒業論文）、振り仮名が本文と同一人物の手になるものかどうかは疑問である。ただし、仮名字体から、本文と同時期の加添であると判断される。よって、鎌倉時代語研究上有効と判断し、本索引を作成するものである。

一、本資料は、巻第一～巻第五までの五軸で伝存している。

一、各項の記載形式は、見出し語・用例・用例の所在とした。

一、見出し語について

1. 見出し語は、平仮名で歴史的仮名遣（字音語はいわゆる字音仮名遣）で統一した。

a. 和語には、私に濁点を付した。

b. 漢字の読みは、本資料の振り仮名に依る。本資料に振り仮名が存しない場合は、『善信聖人親鸞伝絵』の他の諸本に依る。

2. 排列は、最終音節までの五十音順とした。

3. 参照項目を設け、複合語の下位要素からも検索できるようにした。

4. 見出し語は、単語を原則とした。

a. 漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語として扱った。

- b. 漢語に助動詞「なり」「たり」の付いた形は、二語として扱った。
- c. 和語を語幹とするいわゆる形容動詞は、一語として認めた。
- d. 引用されている書名などは、単語に分割せず、そのままの形で掲出した。

一、用例について

- 1. 用例は、「翻字本文」に基づいて掲出した。
- 2. 用例の引用は、以下の通りとした。
  - a. 自立語・付属語とも、原則として当該語のみを示した。
  - b. ただし、活用語は、その用法に応じて下接語（または語句）も示した。
- 3. 用例の排列は、以下の通りとした。
  - a. 活用しない語は、出現順に排列した。
  - b. 活用語は、未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形の順に排列した。
  - c. 同一単語で用例の表記が全同の場合は、初出例の下に所在を記すにとどめた。

一、用例の所在について

- 1. 用例の所在は、「翻字本文」に基づいて記した。
- 2. 漢数字は、底本の巻（第一巻～第五巻）である。
- 3. 算用数字は、各巻での通し行数である。
- 4. 行間の注の所在は、本行所在算用数字の下に「右」「左」と書いて示した。

一、本索引は、佐々木勇・佐藤理絵・寺田守・田中哲宙・森田朋子で作成した。

一、索引作成の手順、製版のものとのファイル作成は、寺田守提案の方式がとられ、入力全般に亘って同氏の尽力が大きかった。



ありと 一五二 三二一 四七四  
 あるへからす 二八四  
 ありくに (有國) アリクニ 一五  
 有國  
 ありのままに 《副詞》 アリ 四二三  
 有のまゝに  
 ありのり (有範) アリノリ 一六  
 有範  
 あるいは 《接続詞》 アルイハ 一四三 一四三 一四三  
 或  
 或は アルイ 二七五 二七六  
 あるとき (或時) アルトキ 二二 二三 三三八 四六一  
 或時  
 あるひ (或日) アルヒ 四三一  
 或日  
 あんず (安) アン 五二〇  
 安す  
 あんず (案) アン 一四九  
 案するに  
 案に アンスル 四一七  
 あんないす (案内) アンナイ 四三五  
 案内し給ふに

い  
 いうせい (幽栖) イウセイ 四〇三  
 幽栖  
 いかでか 《副詞》 一五九 二八七  
 いかてか  
 いかり (忿) イカリ 三〇九  
 忿  
 いきどほり (鬱) イキトホリ 二七六 左  
 イキトホリ  
 鬱 イキトホリ 三〇三  
 いぎやう (易行) イキヤウ 一二四  
 易行  
 いぎやうだう (易行道) イキヤウダウ 二四〇  
 易行道  
 いくせんばん (幾千萬) イクセンバン 二二一  
 千 萬  
 幾千 萬 イクセンバン 二二四  
 いげ (已下) イケ 二八〇  
 已下  
 いささか 《副詞》 四四〇 五一  
 いさゝか  
 いささかも 《副詞》 四四〇 五一

いさゝかも 二八三  
 いしゆ (意趣) イシユ 二五一  
 意趣  
 いたじきやま (板敷山) イタジキヤマ 四一四  
 板敷山  
 いたす (致) 一四二  
 いたすへしと 二五四  
 いたすへき 四四二  
 いたすところ 二七〇  
 いたたく (戴) イタク、キ 一七  
 戴  
 いたみ (痛) 一五三  
 痛  
 いたる (至) 二九二  
 いたりては 二九二  
 至 (用) 一三三  
 いち (市) 一三五  
 市  
 いぢうす (移住) イヂウ 四五四  
 移住したまひき  
 いちかう (一向) 一七五 一七九 一八七  
 一向  
 いちかうせんじゆ (一向専修) 一七五 一七九 一八七

いちぢちみやう (一佛名) イチヂチミヤウ 一七四  
 一佛名  
 いちにん (一人) ↓みういち 四七一  
 一人  
 いちしゆ (一宗) イチシユ 一三七  
 一宗  
 いちしむ (一心) イチシム 四七九 四七八  
 一心  
 いちじやう (一生) イチジャウ 一四三  
 一生  
 いちさい (一切) イチサイ 一四〇  
 一切  
 いちし (一師) イチシ 一四五  
 一師  
 いちごん (一言) イチゴン 一六八  
 一言  
 いちかうせんねむ (一向専念) イチカウセンネム 四七二  
 一向専念  
 一 向 専 念  
 一 佛 名  
 一 佛 名





おとろける 四 24  
 おなじ 《形容詞》  
 をなしく 二 47  
 同<sup>オナシキ</sup> 一 7 9 15 5 5 12 18  
 同<sup>オナシロキ</sup>  
 同《体》 五 38  
 おのおの (各各) 二 58  
 おのく  
 をのおの 四 57  
 各、 四 71  
 をのく 五 14  
 おはします (御座) 二 106  
 おはしませ 二 106  
 おほきなり (浩) 三 20  
 おほきに 三 20  
 浩<sup>オホイ</sup>なる 一 78  
 おほけなし 《形容詞》  
 おほけなくもあらめ 二 91  
 おほし 《形容詞》  
 おほかりし 二 80  
 おほし 二 45 五 28  
 多<sup>オホ</sup>し 四 11

おほす (仰) 一 52 二 73 99 四  
 被<sup>ラレテ</sup>仰<sup>オホセ</sup> 6 42 64  
 おほせられ 二 54  
 おほたに (大谷) 五 12 17  
 大谷<sup>オホタニ</sup>  
 おほぶのがう (大部郷) 四 59  
 大部郷<sup>オホフノカウ</sup>  
 おほやけ (公) 二 28 左 四 88 左  
 オホヤケ  
 おぼゆ (覚) 一 48  
 おほえて  
 おほよそ 《副詞》 二 25 四 10  
 おほよそ 五 27  
 凡<sup>オホヨソ</sup>  
 おむでし (御弟子) 二 50  
 御弟子<sup>オムデシ</sup>  
 おむまへ (御前) 二 79  
 御前<sup>オムマヘ</sup>  
 おもし 《形容詞》 ↓ おもんず  
 おもひ (思) 四 18  
 思<sup>オモヒ</sup>  
 おもひで (思出) 一 58 左

思出<sup>オモヒデ</sup> 二 49  
 おもふ (思) 五 15  
 思<sup>オモヒ</sup>  
 おもふに 四 51  
 思ふ《体》 二 52  
 おもふ《体》 四 19  
 思《体》 四 40  
 おもむく (赴) 一 24  
 おもむかんとなり 一 65  
 赴<sup>オモム</sup>かんや 一 65  
 おもむかすは 四 31  
 赴<sup>オモムキ</sup>ましくけり  
 おもんず (重) 五 25  
 重<sup>オモム</sup>して  
 重<sup>オモク</sup>する 二 28  
 おもんみる (以) 三 4  
 以<sup>オモミレハ</sup>  
 およぶ (及) 四 31  
 及<sup>オヨビテ</sup>  
 をよむて 四 34  
 おん (恩) 一 58 左  
 オム

恩<sup>オム</sup> 一 78  
 おんきよ (恩許) 二 2  
 恩許<sup>オムキヨ</sup>  
 おんけん (隠顯) 四 74  
 隠顯<sup>オムケン</sup>  
 おんじよ (恩怨) 二 6  
 恩怨<sup>オムシヨ</sup>  
 おんち (恩致) 一 67  
 恩致<sup>オムチ</sup>  
 か 《助詞》 一 66 二 44 71  
 か  
 が (我) ↓ われ 一 37 四 67  
 我<sup>カ</sup>  
 が 《助詞》 一 61 79 二 50 70 83 96 103  
 か 四 37 40  
 がいしむ (害心) 四 13 21  
 害心<sup>カイシム</sup>  
 がう (郷) ↓ いなだのがう・  
 おほぶのがう

かうかく (行客) カウカク	二 18	教命 カウメイ	二 18	岳山 カクサン	一 43	かたし	二 48
行客	四 32	かうもん (衡門)	五 37	かくと (學徒)	三 7	かたじけなし 《形容詞》	二 42
かうざん (高山)		衡門		學徒		忝 カタシケンナク	四 71
高山	一 44	かが (峨峨)	一 43	かくによ (覺如)	五 37	かたち (形)	一 33
がうす (号)		峨々		覺如		形 カタチ	
号 (止)	一 4 三 8 8 16	かかはる (拘)	二 70	かくべち (各別)	二 100 101	かたはら (傍)	一 77
号 (止)		拘 カ、ワリ		各別		傍 カタハラ	
号 (止)	一 4	かかる (掛)	四 32	かげ (影)	四 31左	かたぶく (傾)	四 35
号す (止)		かゝりつゝ		カケ		かたふきぬ	
かうぶる (蒙)	二 2	かき (柿)	四 26	かさまのこほり (笠間郡)	四 1	カタフキ	四 36左
蒙		柿 カキ		笠間郡 カサマンコホリ		かつ (可通)	四 69
蒙 (止)	二 6	かく (書)	二 9	かしこ (彼此)	三 21	かつは 《副詞》	二 48
蒙 (止)		シムカ、ロシ 令三書一		かしこ		且は カツ	二 49
かうふるに	二 41	令三書二	二 11	かしこし 《形容詞》	二 105	かつは	五 9
かうみやう (告命) ↓かうめ		シメカ、 令三書二	二 15	かしこくて		かつは	
い		書賜 カキタマハル	二 4	かず (数)	二 35	かつは	
告命	一 45	書載たまふ カキノセ	二 67	かす	四 3左	かなしむ (悲)	五 15
かうみやうす (告命)		書て カイ	三 19	かすかなり (幽)		かならず 《副詞》	四 43
告命して	一 36	書 (止)	五 38	カスカナル		必 カナラス	
かうめい (告命)		かく (掛)	二 30	かた (方)	二 102	かねざね (兼實)	二 17左
告命	四 7	かけ		かた		カナサネ	
かうめい (教命)		かくさん (岳山)		かたし 《形容詞》	二 22	かの (彼)	



彼 <sup>カ</sup>	—	32	49	73	四	15	71	五	25
かの	—	46							
かのとのひつじ (辛未)	カノトノヒツジ 辛未	—	37						
かはりあふ (替合)	—	106							
かはりあふて	—	106							
かはる (替)	—	99							
かはると	—	99							
かはるへからす	—	104							
かはるところ	—	83	97						
かへりみる (顧)	—	55							
顧 (体)	—	55							
かへる (歸)	—	51							
歸て	—	51							
かまこ (鎌子)	—	3							
鎌子	—	3							
かまふ (構)	—	73							
かまへす	—	73							
かみ (守)	—	11							
守	—	11							
カミ	—	13	左						
かむおう (感應)	—	48							
感應	—	48							
かむがふ (考)	—	31							
考	—	31							
かむなぎ (巫)	—	38							
巫	—	38							
かむ (駆)	—	62							
駈て	—	62							
カラレ	—	89	左						
かるがゆゑに 《接続詞》	—	76	四	82					
かるかゆへに	—	76	四	82					
故に	—	48							
故に	—	48							
故に	—	96							
かんえう (簡要)	—	18							
簡要	—	18							
かんふ (肝腑)	—	73							
肝腑	—	73							
かんりむ (翰林)	—	32							
翰林	—	32							
かんゐんだいじん (閑院大臣)	—	4							
閑院大臣	—	4							
き	—								
き (機)	—	65							
機	—	65							
き (記)	—	32							
記	—	32							
き (氣)	—	59	75	五	2	7			
氣	—	59	75	五	2	7			
《助動詞》	—	13	22	32	二	82	四	27	29
き	—	13	22	32	二	82	四	27	29
き	—	55	61						
し	—	8	10	56	二	26	41	80	85
し	—	8	10	56	二	26	41	80	85
シ	—	93	98	四	7	28	57	五	14
シ	—	93	98	四	7	28	57	五	14
ぎ (義)	—	14	三	11					
義	—	14	三	11					
義	—	18	三	9	四	10	73	74	
義	—	18	三	9	四	10	73	74	
きうこく (九棘)	—	30							
九 (平輕) 棘 (入)	—	30							
きうせむ (弓箭)	—	25							
弓箭	—	25							
きぎやう (起行)	—	68							
起行	—	68							
きく (聞)	—	70							
きく	—	70							
きかしむへし	—	41							
きかしめ	—	47							
きざす (兆)	—	9							
きざし	—	9							
きざい (奇瑞)	—	50							
奇瑞	—	50							
きた (北)	—	32	左						
きた	—	32	左						
キタ	—	12	17	19					
北	—	12	17	19					
きとく (奇特)	—	18	5	27					
奇特	—	18	5	27					
きのとのうし (乙丑)	—	6							
乙丑	—	6							
きのとのひつじ (乙未)	—	36							
乙未	—	36							
ぎばう (疑謗)	—	10							
疑謗	—	10							
きはむ (究)	—	27							
きわめて	—	27							
きみ (公)	—	14							
公	—	14							
きむげん (金言)	—	70							
金言	—	70							

きむじやう (今上)	キムシヤウ	今上	一	三	八
きむず (禁)	キムシ	禁	四	二	二
きむめいてんわう (欽明天皇)	キムマイテンワウ	欽明天皇	一	五	五
きやう (卿)	キヤウ	卿	一	五	一
郷 (卿)	キヤウ	郷 (卿)	三	一	一
きやう (行)	キヤウ	行	三	一	六
きやうおう (饗應)	キヤウオウ	饗應	四	四	四
きやうげん (狂言)	キヤウゲン	狂言	五	三	二
きやうじゃ (行者)	キヤウシヤ	行者	一	三	七
きやうしやく (經釋)	キヤウシヤク	經釋	四	六	九
きやうしよう (行證)	キヤウシヨウ	行證	三	三	四
きやうふたい (行不退)	キヤウフタイ	行不退	二	五	六
きやうろん (經論)	キヤウロン	經論	一	五	二
きやくじん (客人)	キヤクジン	客人	四	四	三
きよ (居)	キヨ	居	四	五	六
きよう (御宇)	キヨウ	御宇	一	五	五
きよしよ (居緒)	キヨシヨ	居緒	三	一	三
きりよく (記録)	キリヨク	記録	一	四	九
きる (切)	キリ	切	四	二	六
きんしん (近臣)	キンシン	近臣	一	一	一
くあん (愚案)	クアン	愚案	五	三	五
くう (空)	クウ	空	二	一	九
くうし (空師)	クウシ	空師	三	二	一
くうしやうにん (空聖人)	クウシヤウニン	空聖人	三	一	一
くぎやう (公卿)	クギヤウ	公卿	二	三	零
くぎやうす (恭敬)	クギヤウス	恭敬	四	四	八
くくゑつ (口決)	ククヱツ	口決	四	五	七
くげ (公家)	クゲ	公家	一	七	左
くこう (弘興)	クコウ	弘興	一	五	一
くさい (九歳)	クサイ	九歳	一	一	零
くしす (駄仕)	クシス	駄仕	四	八	九
くじゆん (九旬)	クジュン	九旬	五	七	七
くぜい (弘誓)	クゼイ	弘誓	一	五	九
くぜぼさち (救世菩薩)	クゼボサチ	救世菩薩	一	三	三
くだす (降)	クダス	降	三	二	三
くたし	クタシ	くたし	三	二	零
くたびる (屈)	クタビル	くたびる	二	七	五
くだる (降)	クダル	くだる	二	七	五
くだん (件)	クダン	くだん	四	六	二
くち (口)	クチ	くち	一	一	零
くつう (弘通)	クツウ	弘通	一	七	八
くつがい (屈敬)	クツケイ	屈敬	二	七	五
くつしやうす (崛請)	クツシヤウス	崛請	四	四	八
くとく (愚禿)	クトク	愚禿	二	五	七
くに (國)	クニ	くに	一	五	四
とさのくに・ひたちのくに		とさのくに・ひたちのくに			

くねん (九年) クネン 九年	くわうてい (皇帝) クワウタイ 皇帝	クワンハク	決定しまし／＼けり クエチチャウ 決定しまし／＼けり
くぼむ (九品) クボン 九品	くわうとく (廣徳) クワウトク 廣徳	クキシキ 歸	ぐゑんきう (元久) クエンキウ 元久
ぐまい (愚昧) クマイ 愚昧	くわしやう (和尚) クワシヤウ 和尚	歸しつゝ クキス 歸	ぐゑんくう (源空) クエンク 源空
くまの (熊野) クマノ 熊野	くわしやうゐ (和尚位) クワシヤウウ 和尚位	くゐせん (貴賤) クキセン 貴賤	ぐゑんくうしやうにん (源空聖人) クエンクシヤウニン 源空聖人
くゆ (悔) クユ 悔	くわせい (花城) クワセイ 花城	くゐそう (貴僧) クキソウ 貴僧	ぐゑんくうほふし (源空法師) クエンクホフシ 源空法師
くらし 《形容詞》 クラシ 形容詞	くわもん (華文) クワモン 華文	くゐばう (貴坊) クキハウ 貴坊	ぐゑんそん (玄孫) クエンソン 玄孫
昏 クラキ 昏	ぐわん (願) クワン 願	ぐゑよくによしん (玉女身) クキヨクニヨシン 玉女身	ぐゑんふう (玄風) クエンフウ 玄風
冥 (体) メイ 冥	くわんおむ (觀音) クワンオム 觀音	くゑ (化) クエ 化	ぐんきよす (群居) クンキヨ 群居
くろたに (黒谷) クロタニ 黒谷	くわんかい (願海) クワンカイ 願海	くゑしん (化身) クエシン 化身	ぐんしふす (群集) クンシフ 群集
くわうだい (廣大) クワウタイ 廣大	くわんぎやう (觀經) クワンキヤウ 觀經	くゑす (化) クエ 化	ぐんしやう (群生) クンシヤウ 群生
后宮 クワウタイヨク 后宮	くわんくゑ (勸化) クワンクエ 勸化	くゑちやう (決定) クエチチャウ 決定	ぐんるい (群類) クンルイ 群類
皇太后宮 クワウタイヨク 皇太后宮	くわんぱく (閑白) クワンパク 閑白	くゑちやうす (決定) クエチチャウス 決定	
皇太子 クワウタイシ 皇太子			

け

蓋 ケタシ 一七八

見寫 ケンシヤ 二二二

こ

けいす (詣) ケイ

げだち (解脱) ケタチ 二四二

けんじや (賢者) 五三四

こ (子) コ

詣せん ケイ

けちえん (結縁) ケチエン 四八三

けんじやうどほうべんくゑし  
んどのもんるい (顕淨土方便  
化身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こう (候) コウ

詣へし ケイ

結縁 ケチエン 四八五

顕淨土方便化身土文類 ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

候 コウ

詣す ケイ

けつく (結句) ケチク 四一三

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうあい (矜哀) コウアイ

けう (希有) ケウ

けふ (今日) ケフ 二五六

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こういん (後胤) コウイン

希有 ケウ

けふ (今日) ケフ 二五六

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こういん (後胤) コウイン

けう (教) ケウ

けふ (今日) ケフ 二五六

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こういん (後胤) コウイン

教 ケウ

けふし (脇士) ケウス 一七五

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうぎやう (興行) コウギヤウ

げうかう (暁更) ケウカウ

けふし (脇士) ケウス 一七五

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうぎやう (興行) コウギヤウ

暁更 ケウカウ

けり 《助動詞》 ケリ 一三〇

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうぎやう (興行) コウギヤウ

けうくゑ (教誨) ケウクヱ

けり 《助動詞》 ケリ 一三〇

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうぎやう (興行) コウギヤウ

けうしゆ (教主) ケウシユ

けり ケリ 一三〇

けんじやうどほうべんくゑし  
んどもんるい (顕淨土方便化  
身土文類) ケンシヤウトハウヘンク  
エシントリモンルイ

こうくわい (後悔) コウクワイ

教主 ケウシユ

ける ケル 一三三

けんそ (陰阻) ケンソ 四三二

こうくわい (後悔) コウクワイ

けさ (袈裟) ケサ

げろん (戲論) ゲロン 四一五

けんそ (陰阻) ケンソ 四三二

こうけん (後見) コウケン

袈裟 ケサ

げろん (戲論) ゲロン 四一五

けんそ (陰阻) ケンソ 四三二

こうけん (後見) コウケン

げしじふ (下至十) ゲシジフ

けん (間) ケン 一三五

けんじん (建仁) ケンニン 一一九

こうす (興) コウ

下至十 ゲシジフ

けん (間) ケン 一三五

けんじん (建仁) ケンニン 一一九

こうす (興) コウ

げじゆん (下旬) ゲジユン

けんじち (兼實) ケンシチ 二一七

けんりやく (建曆) ケンリヤク 三一七

こうそん (公孫) コウソン

下旬 ゲジユン

けんじち (兼實) ケンシチ 二一七

けんりやく (建曆) ケンリヤク 三一七

こうそん (公孫) コウソン

けだし 《副詞》 ケダシ

けんしや (見寫) ケンシヤ 二一七

けんりやく (建曆) ケンリヤク 三一七

こうそん (公孫) コウソン

一四

こゝぢ (小路) ↓おしこうぢ・までのこゝぢ	こゝ	二	67	109	四	5
こゝちやう (弘長)	斯、	三	7			
こゝとく (厚恩)	こゝろ (意) ↓そのこゝろ	三	7			
厚恩	こゝろ (心)					
こゝふくじ (興福寺)	こゝろ	一	46	二	29	
興福寺	心	四	19			
こゝほふ (興法)	こゝろう (心得)					
興法	こゝろえらるへき	二	108			
こゝむ (公務)	こゝろざし (志)	一	20			
公務	こゝろざし	四	83			
こゝりう (興隆)	志	五	31			
興隆	こゝろみる (試)	二	52			
こゝやう (古郷)	試と	二	52			
古郷	こゝさい (御歳)	二	16			
こゝぐん (國郡)	御歳	二	16			
國郡	こゝざ (御座)					
こゝふ (國府)	御座	二	56	61		
國府	こゝしふひち (御執筆)	二	63			
こゝくらく (極楽)	御執筆	二	63			
極楽	こゝしらかは (後白河)	一	11			
こゝ (斯)	後白河	一	11			
	こゝしんじむ (御信心)	一	82	86	95	
	御信心	一	82	86	95	
	こそ 《係助詞》	二	91			
	こそ	二	91			
	こそく (御息)	一	12			
	御息	一	12			
	こそる (拳)	二	27			
	拳	二	27			
	ごだい (五代)	一	5			
	五代	一	5			
	こちもく (骨目)	四	73			
	骨目	四	73			
	こつ (忽)	四	46			
	忽	四	46			
	ごぢう (五条)	四	55			
	五条	四	55			
	こと (事)	一	59	二	47	81
	事	一	59	二	47	81
	こと	一	75	二	34	87
	こと	一	75	二	34	87
	こと	88	5	16	22	24
	こと	88	5	16	22	24
	こと	三	6	四	51	左
	こと	三	6	四	51	左
	こと	四	28			
	こと	四	28			
	ことごとく 《副詞》	一	93			
	ことごとく 《副詞》	一	93			
	ことごとく 《助動詞・形容詞》	一	46	三	18	
	ことごとく 《助動詞・形容詞》	一	46	三	18	
	ことごとく	四	52	52		
	ことごとく	四	52	52		
	こととし 《形容詞》	四	37			
	こととし 《形容詞》	四	37			
	ことごとく	一	26			
	ことごとく	一	26			
	ことば 《副詞》	四	44			
	ことば 《副詞》	四	44			
	ことば (詞) ↓そのことば	二	8			
	ことば (詞) ↓そのことば	二	8			
	ことばのゐん (後鳥羽院)	一	93			
	ことばのゐん (後鳥羽院)	一	93			
	ことわり (理)	二	13			
	ことわり (理)	二	13			
	ことわり	一	39	46	49	二
	ことわり	一	39	46	49	二
	ことわり	二	21	53	43	
	ことわり	二	21	53	43	
	ことわり	二	71			
	ことわり	二	71			
	この (此)	一	85			
	この (此)	一	85			
	この (此)	一	14	二	41	
	この (此)	一	14	二	41	
	この (此)	一	93			
	この (此)	一	93			

此來 コノカタ 52  
このごろ (今此) コノコロ 456  
今此 コノコロ  
このとき (此時) コノトキ 157 184 65 20  
此時  
このとき  
このほか (此外) コノホカ 315  
此外  
このゆゑに 《副詞》  
このゆへに 169  
是故 コノユヘニ 312  
所<sub>レ</sub>以に コノユヘニ 471  
このゑ (近衛) ↓こののゑ  
このひち (御筆) コノヒチ 215  
御筆  
このふ (業) コノフ 28  
業  
このほり (郡) ↓かさまのこほり・なかのさいのこほり  
このむあん (今案) コノムアン 173  
今案  
このむがう (金剛)

金剛 コノカタ 270  
このむねん (今年) コノネン 216  
今年  
こやく (巨益) コヤク 465  
巨益  
こゆ (越・超) コヘ 41  
越て  
超たり コヘ 522  
これ (是・此・茲・斯・之) コレ 112 223 39 53 72 119 23  
是  
これ 23 69 32 429 47 55 77  
127 56 67 27 27 32  
33 45 67 476 512 27 29  
此 コレ 139 469  
茲 コレ 171 310  
斯 コレ 171 78 219  
之 コレ 219 44 316 479  
コレ 478  
是 533  
之 538  
これい (孤嶺) コレイ 434  
孤嶺

ころ (比) ↓このころ・そのころ コロ  
比 コロ 11 517  
ころ 19  
ころも (衣) コロモ 426  
衣  
こゑ (聲) コエ 54  
聲  
ごんげん (権現) ゴンケン 442  
権現  
こののゑ (近衛) コノノエ 14  
近衛  
さ  
ざ (座) ↓ざい ザ 257 64 66 74  
座  
ざい (歳) ↓ざい ザイ  
ざいくわ (罪科) ザイクワ 311  
罪科  
ざいくわす (罪科) ザイクワ 32  
罪科せらるへき  
ざいこくす (在國)

在國し給けり サイコク 322  
さいしやう (宰相) サイシヤウ 5  
宰相  
ざいしやう (在生) サイシヤウ 225 527  
在生  
ざいしやうぶち (在成佛) サイシヤウフチ 213  
在成佛  
さいしよう (最勝) サイシヨウ 219  
最勝  
ざいせ (在世) サイセイ 21 514 22  
在世  
さいてん (西天) サイテン 152  
西天  
ざいみやう (罪名) ザイミヤウ 314 15  
罪名  
さう (草) 37  
草  
さうおうす (相應) サウオウ 465  
相應すれは  
さうす (葬) サウ 511  
葬したてまつる  
さうせち (霜雪)

霜雪 サウセチ 一  
 さうでん (相傳) サウデン 五 20  
 さうなし 《形容詞》 サウ 四 20  
 左右なく  
 さかひ (堺) サカヒ 四 30  
 堺  
 さかりなり (煽・盛) サカム 一 72  
 煽なり  
 盛 サカンナリ 三 5  
 盛 サカリナル 五 22  
 さき (前) サキ 一 11 右  
 前 サキ 一 11 12  
 さきやう (左京) 四 54 左  
 左京  
 さしおく (閣) サシオイ 二 39  
 閣で  
 さしはさむ (挿) サシハサ 四 13  
 挿で  
 さだいじん (左大臣) サダイシン 一 4 右  
 左大臣

さどのゐん (佐渡院) サトノオン 三 16  
 佐渡院  
 さとる (論) サトリ 二 19  
 論  
 さねたて (真楯) サネ 一 4  
 真楯 (タテ)  
 ざぶぎやう (雑行) ザブキ 二 6  
 雑行  
 さまざまに 《副詞》 サマ 四 49  
 さまゝに  
 さむ (悟・覚) サメ 一 48  
 悟  
 覚 サメ 四 45  
 さむ (三) ↓しちじゆんさむ  
 さむぎやう (三經) サムキヤウ 四 74  
 三經  
 さむくわい (三槐) サム 二 30  
 三 (平) 槐 (平)  
 さむくわん (三觀) サムクワン 一 15  
 三觀  
 さむじく (三國) サムコク 四 71  
 三國

さむしふ (參集) サムシフ 二 50  
 參集  
 さむしむ (三心) サムシム 四 77  
 三心  
 さむねん (三年) サムネン 一 31  
 三年  
 さむはい (三輩) サムハイ 四 75  
 三輩  
 さむびやくはちじふよにん (三百八十余) ヨニシ 二 36  
 三百八十余  
 さむびやくよにん (三百余人) ヨニシ 二 58  
 三百余人  
 さらに 《副詞》 サラニ 一 73 四 16 72  
 更  
 さらに 二 68 104  
 さら  
 更に 四 90  
 更  
 し (之) 一 37  
 之

じ 《助動詞》「打ち消し」「終止形」 二 108  
 し 二 108  
 じ (字) 二 8 15 16 12 19  
 字  
 じうねむ (宿念) シウネム 四 5  
 宿念  
 じうほう (宿報) シウホウ 一 36  
 宿報  
 しかあり (然) ↓しかり 二 36  
 しかあり  
 しかあるに 《接続詞》 ↓し 二 44  
 しかあるに  
 しかあれば 《接続詞》 ↓し 一 6 四 87  
 しかあれば  
 しかあれば 一 6 四 87  
 しかあれば  
 しがう (紫毫) 五 32  
 紫毫  
 しかしながら 《副詞・接続詞》 シカシナカラ 一 72  
 併  
 しかしなから 五 29  
 しかのみならず 《接続詞》

如之シカノミナラス 二 32  
 しかりシカリシ (爾・然) ↓しかれば  
 爾 一 14  
 然シカル (止) 五 34  
 然シカル 二 53  
 しかるにシカルニ 《接続詞》 ↓しかあ  
 るに 二 5 三 5  
 然シカルニ 二 5 三 5  
 尔シカルニ 二 22  
 而シカルニ 一 54 四 11 61 70 五 5  
 然シカル 四 72  
 しかればシカル 《接続詞》 ↓しかあ  
 れば 一 51 二 65 四 91  
 然者シカレハ 二 94  
 しかればシカレハ 三 12  
 尔者シカレハ 四 80  
 然シカレハ 一 4  
 しきぶきやうシキフキヤウ (式部卿)  
 式部卿 二 28  
 しきむシキム (紫禁)  
 紫シ (去) 禁キム (平) 一 4

しくシク (如) 二 44  
 如シカン 一 31  
 しぐわちシグワチ (四月) 三 17  
 四月 一 67  
 しぐゑちシクエチ (子月) 四 45  
 子月 一 17  
 しけうシケウ (四教) 三 17  
 四教 一 31  
 しけうシケウ (師教) 一 17  
 師教 一 67  
 じげんシゲン (示現) 四 45  
 示現 一 17  
 じげんすシゲン (示現) 一 34  
 示現して 一 34  
 しいシイ (死罪) 三 11 16  
 死罪 二 31  
 しじふはちぐわんシジフハチグワン (四十八願) 四 91  
 四十八願シジフハチグワン 二 31  
 じしむシシム (自心) 一 29 40  
 自心 一 29 40  
 ししゆシシユ (旨趣) 一 29 40  
 旨趣 一 29 40  
 じしゆシシユ (自宗) 一 29 40  
 自宗 一 29 40

自宗シシユ 四 73  
 じしんシシン (侍臣) 三 20  
 侍臣 三 20  
 しそシソ (緇素) 五 25  
 緇素 五 25  
 したシタ (舌) 二 109  
 舌 二 109  
 じたシタ (自他) 二 47  
 自他 二 47  
 したがふシタガフ (従) 四 89  
 したがひ 四 89  
 したしシタシ 《形容詞》  
 親シタシト 二 21  
 したふシタフ (慕) 四 58  
 慕シタヒ 四 58  
 じちうシチウ (時中) 四 67  
 時中 四 67  
 しちぐわちシチグワチ (七月) 二 10  
 七月 二 10  
 しちじゆんさむシチジユンサム (七旬三) 二 16  
 七旬三 二 16  
 じちんシチン (慈鎮) 一 12  
 慈鎮 一 12

してシテ 《接続助詞》 一 23 42 二 51 四 9 16  
 して 46 86  
 今シテ 三 6  
 しとシト (緇徒) 二 35  
 緇徒 二 35  
 しばしばシバシバ 《副詞》 一 14  
 しばしば 一 14  
 しばらくシバラク 《副詞》 一 72 二 22 四 56  
 しばらく 一 72 二 22 四 56  
 じふはうしゆじやうシフハウシユシヤウ (十方衆生) 四 23  
 十方衆生 四 23  
 しふひちシフヒチ (執筆) ↓ごしふひ  
 ち 二 12  
 執筆シフヒチ 二 71  
 執筆 二 71  
 執筆 五 37  
 しふゑシフエ (集會) 二 55  
 集會 二 55  
 じみやうシミヤウ (自名) 二 72  
 自名 二 72



しむ (ト・占) 四 56  
 卜たまふ 四 3  
 占と 四 3  
 しむ 《助動詞》  
 しめ 一 35 47  
 令シム 二 15  
 しむへしと 一 41  
 令シム 二 9 11  
 令シムル 二 18  
 しむざん (深山) 四 14  
 深山シムサ 四 14  
 しむし (參差) 四 17  
 參差シムン 四 17  
 じむしむ (甚深) 二 20  
 甚深シムシム 二 20  
 しむちはくらん (深智博覽) 二 90  
 深智博覽シムチハクラン 二 90  
 しめす (示) 二 58  
 示シムシムタマヘ 二 58  
 しめす 一 62  
 しやう (上) 一 11  
 上シヤウ 一 11

しやう (姓) 三 12  
 姓シヤウ 三 12  
 しやう (生) 一 38  
 生シヤウ 一 38  
 しやう (聲) 二 13  
 聲シヤウ 二 13  
 じやう (成) 一 37  
 成シヤウ 一 37  
 しやういちゐ (正一位) 一 4  
 正一位シヤウ 一 4  
 しやうえ (正依) 一 57  
 正依シヤウエ 一 57  
 じやうぐうたいし (上宮太子) 一 53  
 上宮太子シヤウクタイシ 一 53  
 じやうくわう (上皇) 一 11  
 上皇シヤウクワウ 一 11  
 しやうげう (聖教) 四 64  
 聖教シヤウケウ 四 64  
 しやうごふ (正業) 二 23  
 正業シヤウゴフ 二 23  
 しやうごむ (莊嚴) 一 37  
 莊嚴シヤウゴム 一 37  
 しやうじや (聖者) 一 37  
 聖者シヤウジヤ 一 37

聖者シヤウシヤ 一 72  
 じやうじゆす (成就) 四 5  
 成就シヤウシユ 四 5  
 じやうじゆん (上旬) 三 8  
 上旬シヤウシユン 三 8  
 しやうしんぼう (聖信房) 二 79  
 聖信房シヤウシンハウ 二 79  
 じやうず (成) 二 47  
 成シヤウ 二 47  
 成したらむ 三 9  
 成シヤウシ 三 9  
 成すへからす 四 66  
 成すシヤウ 四 66  
 じやうずい (常隨) 二 35  
 常隨シヤウスイ 二 35  
 しやうそう (聖僧) 一 33  
 聖僧シヤウソウ 一 33  
 しやうぞく (装束) 四 37  
 しやうそきたる 四 37  
 しやうだう (聖道) 三 4 46  
 聖道シヤウダウ 三 4 46  
 しやうだうもん (聖道門) 二 40 三 1  
 聖道門シヤウダウモン 二 40 三 1  
 じやうど (淨土) ↓ゆいじや  
 じやうど 一 42

淨土 一 56  
 淨土シヤウト 一 56  
 じやうどしゆ (淨土宗) 二 107  
 淨土宗シヤウトシユ 二 107  
 淨土真宗 二 5  
 淨土真宗シヤウトシンシユ 二 5  
 じやうどもん (淨土門) 一 41  
 淨土門シヤウトモン 一 41  
 しやうにん (上人) ↓しんら  
 しやうにん 一 11 二 72 三 18  
 やうにん・ぐゑんくうしや  
 うにん・ぜんしんしやうに  
 ん・だいししやうにん  
 聖人シヤウニン 一 2 19 25 31 51 77  
 しやうみやう (姓名) 三 11  
 姓名シヤウミヤウ 三 11  
 しやうめん (正面) 一 42  
 正面シヤウメン 一 42

しやうれき (聖曆)	三	宗	一	じゆしる (従四位)	三	儒林	三
聖曆	三八	じゆいちゐ (従一位)	二六	従四位	一一	じゆりむ (樹林)	二六
じやうろん (諍論)	二	従一位	四	しゆせんまんおく (数千万億)	一一	樹林	二九
諍論	二八一	しゆえん (終焉)	一四	数千万億	四四	じゆん (旬) ↓しちじゆんさ	二九
しやく (釋)	二	終焉	一三	しゆだう (修道)	四四	む	
釋	二五九六〇	しゆぎ (宗義)	一三	修道	四六八	じゆんず (順)	
しやくくう (綽空)	二	宗義	二一	しゆつごん (出言)	四六八	順で	
綽空	二九一五	しゆぎやう (修行)	二一	出言	二五一	しやうがみやうがう (稱我名号)	七〇
しやくす (釋)	四	修行	六六	しゆつす (述)	二五一	稱我名号	七〇
釋す	四八〇	しゆくうつ (宿鬱)	六六	述すと	四二四	しやうぐゑん (承元)	一二
しやくもん (釋門)	四	宿鬱	二三	しゆつり (出離)	四二四	承元	一二
釋門	四八〇	じゆさむゐ (従三位) ↓あ	二三	出離	四二	しやうじやうす (證誠)	三八
じやしやう (邪正)	三	はくじゆさむゐ	二三	じゆてき (戎狄)	四二	證誠す	三八
邪正	三六	しゆしや (取捨)	二三	戎 (平濁) 狄 (入)	四二	しやうじやうでん (證誠殿)	四九
しやす (謝)	三	取捨	三五	じゆとくす (受得)	四二	證誠殿	四九
謝せんか	三七	しゆじやう (主上)	三五	受得し	二二九	しやうだう (證道)	八一
しやべう (社廟)	三	主上	三五	しゆはい (数輩)	二二九	しやうち (勝地)	八一
社廟	三六	しゆじやう (衆生)	三五	数輩	二二九	證道	八一
しやみほふりき (沙弥法力)	四	衆生	三五	しゆひやくにん (数百人)	二二九	しやうち (勝地)	八一
沙弥法力	四三九〇	シユシヤウ	三五	数百人	二二九	しやうみやう (稱名)	八一
しやりほち (舍利弗)	四	シユシヤウ	三五	じゆまんす (充滿)	二二九	稱名	八一
舍利弗	四六一	しゆじやうしやうねむ (衆生)	三五	充滿し	二二九	しやうりう (紹隆)	八一
しゆ (宗)	四	稱念	三五	じゆりむ (儒林)	二二九		八一
宗	四七八	衆生 稱念	三五		二二九		八一

紹隆 シヨウリウ	一 25	しよみん (庶民) シヨミン	親友 シンウ	しんず (信) シンシ
しよか (初夏) シヨカ	一 7	庶民 シヨミン	しんえい (真影) シンエイ	信て シンシ
しよげう (諸教) シヨケウ	二 7	しよむ (所務) シヨム	真影 シンエイ	信して シンシ
諸教 シヨケウ	二 4	所務 シヨム	しんか (臣下) シンカ	信するに シンシ
しよじ (諸寺) シヨジ	三 4	しよゐ (所為) シヨヰ	しんくう (信空) シンクウ	しんせち (真説) シンセチ
諸寺 シヨジ	三 5	所為 シヨヰ	信空 シンクウ	真説 シンセチ
しよしやす (書寫) シヨシヤシ	二 22	じりき (自力) ジリキ	しんけ (真假) シンケ	しんちよく (神勅) シンチヨク
書寫 シヨシヤシ	二 22	自力 ジリキ	真假 シンケ	神勅 シンチヨク
しよしよ (處處) シヨシヨ	五 23	しる (知) シラ	しんじち (真實) シンジチ	しんひち (真筆) シンヒチ
處處 シヨシヨ	五 23	不三知 フサンチ	しんじち (真實) シンジチ	真筆 シンヒチ
しよす (書) シヨシキ	二 6	しらす シラス	しんじち (真實) シンジチ	しんふたい (信不退) シンフタイ
書 シヨシキ	二 6	しり シリ	真實 シンジチ	信不退 シンフタイ
しよす (處) シヨセ	一 64	しるし (徴) シルシ	しんじむ (真心) シンジム	しんもん (真文) シンモン
處せ シヨセ	一 64	しろし 《形容詞》 シロシ	しんじむ (信心) ↓ごしんじ シンシム	しんもん (真文) シンモン
しよほう (諸方) シヨハウ	三 11	白 シロキ	む ム	真文 シンモン
諸方 シヨハウ	三 11	じゑん (慈圓) ジエン	しんじむ (信心) ↓ごしんじ シンシム	しんらん (親鸞) シンラン
しよぶち (諸佛) シヨフチ	三 13	慈圓 ジエン	信心 シンシム	親鸞 シンラン
諸佛 シヨフチ	三 13	しん (信) シン	しんしゆ (真宗) シンシユ	しんらんしやうにん (親鸞 上人) シンランシヤウニン
しよまう (所望) シヨマウ	四 78	信 シン	真宗 シンシユ	親鸞上人 シンランシヤウニン
所望 シヨマウ	四 78	しんいう (辛酉) シンイウ	しんじゆん (信順) シンシユン	じんをく (人屋) シムラク
しよまう (所望) シヨマウ	二 52	辛酉 シンイウ	しんじゆん (信順) シンシユン	人屋 シムラク
しんう (親友) シンウ	一 31 二 5	しんう (親友) シンウ	しんじん (真信) シンシン	す ス
しんう (親友) シンウ	一 31 二 5	しんう (親友) シンウ	真信 シンシン	す ス

す (為) ↓あそびす・あひぐす・あんず・あんないす・いんきよす・いんにふす・えつす・おもんず・がうす・かうみやうす・きむず・くぎやうす・くしす・くつしやうす・くゑす・くゑす・くゑちぢやうす・ぐんきよす・ぐんしふす・けいす・けんしやす・こうぎやうす・こうす・ざいくわす・ざいこくす・さうおうす・さうす・じげんす・しやうす・しやうず・じやうじゆす・しやくす・しやす・じゆつす・じゆとくす・じゆまんす・じようじやうす・しよしやす・しよす・しんず・せうめちす・せふざいす・せんしふす・せんせちす・せんねむす・そうたちす・そうもんす・たいす・たいぢよす・ただしくす・たちす・たんぎす・ちさむす・ちやくふくす・ちゆす・づぐわす・つみす・ていきふす・はいたいす・はんす・ひとしくす・ふ

がうす・ふぞくす・へむふす・ほうびす・ほちきす・まんぞくす・やうかうす・らいしす・らろうす・りやくす・わうへんす・ゑす  
 せむ 四 88  
 し侍らんか 二 50  
 し侍る 二 81  
 為<sup>ス</sup> 一 9 三 12  
 す 《助動詞》 「使役」  
 せたまふ 二 95  
 せたまはし 二 107  
 ず 《助動詞》 「打ち消し」 ↓  
 しかのみならず  
 すは 一 58 64 66  
 す 一 73 二 33 65 84 104 105 四 17 41 67 91 五 3 4 24  
 すよりは 二 42  
 不<sup>ス</sup> 三 6 10 五 28  
 ス 二 12 12  
 すと 五 15  
 不 五 32  
 さる 二 59

ゝ (さ) るへき 二 89  
 さるに 四 45  
 さるぞや 四 81  
 すいじやく (垂迹) 一 61 69 四 84 85  
 垂迹<sup>スインヤク</sup>  
 すくなし 《形容詞》  
 少<sup>スクナク</sup> 四 11  
 すこぶる 《副詞》  
 頗<sup>スコフル</sup> 四 18 五 22  
 すすむ (勸) 四 75  
 勸<sup>スマメ</sup>  
 勸<sup>スマムル</sup> 四 72  
 する (廢)  
 廢<sup>スタレ</sup> 三 5  
 すつ (棄・捨) 二 6  
 棄<sup>ステク</sup>  
 捨<sup>ステ</sup> 四 26  
 すでに 《副詞》  
 既<sup>ステニ</sup> 二 22 四 8  
 已<sup>ステニ</sup> 三 12  
 すてに 四 33  
 すなはち 《接続詞》

則<sup>スナワチ</sup> 一 22 四 80  
 即<sup>スナワチ</sup> 一 60 二 53 四 73  
 すなわち 四 21 28 67 82  
 すべて 《副詞》  
 都て<sup>スヘテ</sup> 二 36  
 すへて 五 22  
 すまひ (栖) 四 3 左  
 スマイ<sup>スマヒ</sup> 四 53  
 すむ (住) ↓うつりすむ  
 せ  
 せいかく (聖覺)  
 聖覺<sup>セイカク</sup> 二 60  
 せいきう (青宮)  
 青 (平) 宮 (平)<sup>セイキウ</sup> 二 28  
 せいぐわん (誓願)  
 誓願<sup>セイクワン</sup> 一 39 39 四 87  
 せいぐわんぼう (勢觀房)  
 勢觀房<sup>セイクワンハウ</sup> 二 79

せいさく (製作)	二 22	せいさく (製作)	二 22
製作		ぜんあく (善悪)	一 28
せいし (勢至)	一 68	ぜんあく (善悪)	二 102
勢至		ぜんしち (禅室)	四 19
せいだい (聖代)	三 17	ぜんしち (禅室)	
聖代		ぜんしふす (撰集)	二 18
せうぎやう (小經)	四 78	せんしふす (撰集)	
小經		せんじゆ (専修) ↓いちかう	二 5
せうなごん (少納言) ↓は		せんじゆつ (選述)	二 5
んえんせうなごん		ぜんしん (善信)	一 36 39 41 二 38 83
せうめちす (消滅)	四 22	善信	88 96
消滅して		ぜんしんしゃうにん (善信)	一 1 二 62 63
せうろ (小路)	一 23	善信 聖人	
小路		ぜんしんぼう (善信房)	二 85 103
せきさい (碩才)	三 3	善信房	
碩才		ぜんぢちす (宣説)	一 40
せい (世事)	五 3	ぜんぢちす (宣説)	
世事		ぜんぢやう (禅定)	二 17
せち (設)	一 36	ぜんぢやう (禅定)	
設		ぜんぢやく (選擇)	二 6
せふざいす (攝在)	二 19	ぜんぢやく (選擇)	
攝在		ぜんぢやくほんぐわんねむぶ	
せふしやう (攝生)		ちしふ (選擇本願念佛集)	二 7 17
		選擇 本願 念佛集	
		せんたく (先徳)	二 1
		せんねむ (専念) ↓いちかう	二 23
		せんねむ	
		せんねむす (専念)	一 74
		専念するに	
		ぜんぼう (禅房)	二 21 5 8
		禅房	
		せんばん (千万) ↓いくせん	
		ばん	
		そ	
		ぞ 《係助詞》	二 63
		哉	四 81
		そや	
		そう (僧)	二 35 左
		ソウ	
		僧	二 12 4 12
		ぞう (贈)	一 4 右 4
		贈	
		そうぎ (僧儀)	三 11
		僧儀	
		そうたちす (奏達)	三 7
		奏達	
		そうもんす (奏聞)	三 19
		奏聞し給ふに	
		そく (息) ↓こそく	一 4
		息	
		ぞく (俗)	三 12
		俗	
		ぞくしやう (俗姓)	一 2
		俗姓	
		そくわい (素懷)	四 27
		素懷	
		そし (祖師)	四 71
		祖師	
		その	

その 一 44 二 35 三 37 四 89 五 90  
 其ソノ 一 21 三 12 五 24  
 そのソノ  
 そのころソノコロ (其意) 二 59  
 其意ソノコトバ  
 そのことば (其詞) 二 59  
 其詞 五 33  
 そのころ 五 33  
 そのころ 四 59  
 そのせつ (其節) 四 59  
 其節ソノセツ 四 16  
 そのてい (其躰) 五 33  
 其躰 五 33  
 そのとき (尔時・其時) 一 41  
 尔時ソノトキ 一 41  
 そのとき 一 45  
 其時ソノトキ 二 58  
 そのゆゑ (其故) 二 82  
 そのゆへ 二 89  
 そのゆへ 二 82  
 そむく (背) 三 9  
 背ソムク 三 9  
 そもそも 《接続詞》

抑ソムク 一 63  
 ぞや 《連語》 ↓ぞ・や  
 ぞる (剃) 一 13 左  
 ソリ 一 13 左  
 それ (夫・尔) 一 2 四 64  
 夫ソレ 一 2 四 64  
 尔ソレ 五 2  
 孫ソノ (孫) 一 5  
 孫ソノ 一 5  
 そんぎやう (尊敬) 四 42  
 尊敬ソノギヤウ 四 42  
 そんげん (尊顔) 四 21  
 尊顔ソノケン 四 21  
 そんせい (尊成) 三 8  
 尊成ソノセイ 三 8  
 そんぢう (尊重) 四 48  
 尊重ソノチュウ 四 48  
 そんよう (尊容) 一 62  
 尊容ソノヨウ 一 62  
 尊容 一 62  
 たいきやう (大經) 四 75  
 大經タイキヤウ 四 75

たいくいち (第九日) 二 11  
 第九日タイクニチ 二 11  
 だいさむ (第三) 一 19  
 第三タイサム 一 19  
 だいさむてん (第三天) 五 38  
 第三天 五 38  
 だいさむれき (第三曆) 五 36  
 第三曆 五 36  
 たいし (太子) ↓じやうぐう 一 68  
 太子タイシ 一 68  
 たいし (大士) ↓にだいし  
 だいししやうにん (大師聖人) 一 63 67 二 52  
 大師聖人タイシシヤウニン 一 63 67 二 52  
 だいしちにち (第七日) 三 17  
 第七日タイシ 三 17  
 だいしにち (第四日) 二 7  
 第四日タイシニチ 二 7  
 たいしやう (大将) 一 4  
 大将タイシヤウ 一 4

だいじやうだいじん (太政大臣) 一 4  
 太政大臣タイシヤウダイシン 一 4  
 だいじやうてんわう (太上天皇) 三 7  
 太上天皇タイシヤウテンワウ 三 7  
 たいしよくくわん (大織冠) 一 3  
 大織冠タイシヨククワン 一 3  
 だいしん (大進) 一 6  
 大進タイシン 一 6  
 だいじん (大臣) ↓かんめん 一 3 二 30 左  
 大臣タイシン 一 3 二 30 左  
 じん 一 3 二 30 左  
 たいす (對) 一 47  
 對タイシ 一 47  
 たいそ (太祖・太祖) 三 10  
 太祖タイソ 三 10  
 たいそ (太祖・太祖) 二 25  
 太祖タイソ 二 25  
 だいそうじやう (大僧正) 一 12  
 大僧正タイソウシヤウ 一 12  
 だいだう (大道) 一 12

大道 <small>タイタウ</small>	一	24	たうちほんぜいぢうぐわんふ	只	五	34	立へからさるそや	四	81
たいぢよす <small>(剃除)</small>	一	13	こ <small>(當知本誓重願不虛)</small> 當知本誓重願 不虛	ただいま <small>《副詞》</small> 只今 <small>タイイマ</small>	四	42	たづぬ <small>(尋)</small> 尋 <small>タツネ</small>	一	21
剃除し給き <small>タイチヨ</small>	一	13		ただし <small>《接続詞》</small> 但 <small>タ、シ</small>	四	65	たてまつる <small>(奉)</small> たてまつりて 奉 <small>タテマツル</small>	一	13
だいなごん <small>(大納言)</small>	一	4	たうちやう <small>(刀杖)</small> 刀杖 <small>タウチャウ</small>	ただしくす <small>(正)</small> 正する <small>タ、シユウ</small>	二	30	上 <small>《止》</small> 上 <small>ル</small>	二	22
大納言 <small>タイノウゴン</small>	一	4	たうど <small>(唐土)</small> タウト	ただちに <small>《副詞》</small> 直 <small>タ、チニ</small>	二	31	たてまつる <small>(止)</small> たてまつる <small>(体)</small>	四	14
だいにてん <small>(第二天)</small>	五	36	たうらい <small>(當来)</small> 當来 <small>タウライ</small>	ただひと <small>(只人)</small> たゝ人	四	47	たのむ <small>(憑)</small> 憑 <small>(用)</small>	五	11
第二天	五	36	だうろ <small>(道路)</small> 道路 <small>タウロ</small>	たたふ <small>(湛)</small> 湛 <small>タ、ヘ</small>	一	17	たふとぶ <small>(尊)</small> たふとひ	二	33
だいはちにち <small>(第八日)</small>	一	6	たかし <small>《形容詞》</small> 高く	たちす <small>(達)</small> 達 <small>タチ</small>	一	16	たふる <small>(絶)</small> たふる	五	5
第八日 <small>タイ</small>	一	6	たかなり <small>(尊成)</small> タカナリ	たちどころに <small>《副詞》</small> 立 <small>タチ</small> ところ	一	28	たまはく <small>(給)</small> たまはく	二	39
だいら <small>(内裏)</small>	一	6	たくはふ <small>(蓄)</small> 蓄 <small>タクハヘンヤ</small>	たちまちに <small>《副詞》</small> 忽 <small>タチマチニ</small>	二	2	たまはる <small>(賜)</small> たまはらせたまふ	一	95
たいりよ <small>(太呂)</small>	五	38	たぐひ <small>(類)</small> たくひ	たちまちに	四	6	賜 <small>タマハテ</small>	三	11
太呂	五	38	たぐひ <small>(類)</small> たぐひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	五	20	賜 <small>(止)</small> 賜 <small>タマハル</small>	二	4
たいれい <small>(類齡)</small>	五	7	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
類齡 <small>タイレイ</small>	五	7	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
だう <small>(堂)</small>	二	30	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
だう <small>(道)</small>	二	30	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
道 <small>タウ</small>	二	30	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
たうじ <small>(當時)</small>	五	35	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
當時	五	35	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
だうぞく <small>(道俗)</small>	四	3	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11
道俗 <small>タウソク</small>	四	3	たかひ <small>(類)</small> たかひ	たつ <small>(立)</small> 立 <small>タテ</small>	四	21		三	11

たまはる (体)	二	102	ためなり	一	79	ち (徴) ↓ちつ	直入	チキニフ	一	29
たまふ (給)	爲		爲	五	31	ちうぐわん (重願)	ちさむす (遅参)	チサン	二	62
たまはすは	一	58	ためひと (爲仁)	三	8	重願	遅参して	チサン	二	62
たまはし	二	107	爲仁	三	8	ちうしゆん (仲春)	ちち (父)	チ	一	11
給き	一	13	たゆ (絶)	五	7	仲春	父、	チ	一	11
たまひき	二	21	たへ	二	7	ちうじゆん (中旬・仲旬)	ちつ (徴)	チツナリ	二	24
たまひしに	二	26	たり 《助動詞》 「完了」	二	47	中旬	徴也	チツキム	二	24
給けり	三	23	たら	二	47	仲旬	ぢつきん (昵近)	チツキム	二	35
たまひけるに	四	15	たり	一	85	ちうせち (忠節)	昵近	チツキム	二	35
たまひにけり	四	20	たる	四	64	忠節	ちまた (衢)	チマタ	四	4
たまひけり	四	58	たれ	一	74	ちうとう (仲冬)	ちやうあん (長安)	チヤウ	四	53
たまひて	五	6	たり 《助動詞》 「断定」	一	43	仲冬	長 (平) 安 (平軽)	チヤウ	五	8
たまふ (止)	一	78	たる	一	43	ちうなごん (中納言) ↓を	ちやうくみやう (長兄)	チヤウクキヤウ	一	12
72 95 四 2 56 84 五 8			たるか	四	37	かざきのちうなごん	長兄	チヤウクキヤウ	一	12
たまふへしとも	二	57	たりき (他力)	一	28	ちおんほうとく (知恩報徳)	ちやくふくす (着服)	チヤクフク	一	34
給ふに	三	19	他力	一	25	知恩報徳	着 服せしめ	チヤクフク	一	34
給へき	四	43	たんごむ (端嚴)	一	92	ちかし 《形容詞》	ちゆす (註)	チユス	二	24
たまふに	一	28	端嚴	一	33	ちかき	ちやくめん (勅免)	チヨクメン	三	18
たまへり	四	46	たんざす (端座)	一	35	ちかづく (近付)	ちやくめん (勅免)	チヨクメン	三	18
給と	二	58	端座して	一	35	近に	直に	チキ	一	76
ため (爲)			ち			ちぎに 《副詞》	ちぎにふ (直入)	チキ	一	76
ために	一	61				直に		チキ	一	76
四 63	二	50				ちぎにふ (直入)		チキ	一	76
	三	22						チキ	一	76





丁寧 テイネイ 四 44

てう (朝) 一 55

朝 テウ 一 55

テウ 四 71左

でう (条) 二 53

条 テウ 二 53

てうてい (朝廷) 一 6

朝廷 テウテイ 一 6

でし (弟子) ↓おむでし 三 13

弟子 テシ 三 13

てんだい (天台) 一 15

天台 テンタイ 一 15

てんぢく (天竺) 四 71左

テンチク 四 71左

てんわう (天皇) ↓きむめい

てんわう・だいじやうてん

わう

でんゑ (傳繪) 一 1

傳繪 テンエ 一 1

と 《格助詞》

と 一 14 25 41 45 48 76 二 33

と 36 37 46 52 52 45 58 61 63

と 65 66 68 75 82 83 84 86 86

と 87 88 89 97 97 99 109 84 86 86

と 40 45 46 48 60 68 69 74 75

と 77 79 80 86 五 15 24 28

ト 一 4 4 一 9 17 21 21 21

ト 三 8 8 12 13 16 四 74 74 78

ト 二 9 12 四 8

ト 四 88

と (等) 一 57

とくわん (東関) 四 30

東関 トウクワン 四 30

どうしち (同室) 二 44

同室 トウシチ 二 44

とんど (東土) 一 53

東土 トウト 一 53

とつぼう (東方) 一 43

東方 トウハウ 一 43

とつるん (洞院) 四 55

洞院 トウイン 四 55

とがむ (答) 四 55

とかめて 二 85

とき (時) ↓あるとき・この

とき・そのとき 一 11 31 51 二 54 60 四 35

時 トキ 一 11 31 51 二 54 60 四 35

時 66 五 5 7

ときん (頭巾) 二 81 五 36

頭巾 トキム 二 81 五 36

とく (説) 四 26

説きかしま 一 47

説 トキ 一 47

とく (徳) 四 78

徳 トク 四 78

とく (禿) 二 23

禿 トク 二 23

とぐ (遂) 三 12 19

とけす 四 17

遂 トケ 四 17

とくしや (得者) 四 57

得者 トクシヤ 四 57

とくしやう (得生) 四 68

得生 トクシヤウ 四 68

とこしなへなり (常) 二 46

とこしなへに 一 16

ところ (所・処) 一 16

ところ 一 62 二 55 70 83 97

ところ 98 四 2 72 91 五 29

トコロ 二 28 左 28 左

所 トコロ 二 28 左 28 左

ところどころ (所所) 二 18 四 38

ところ 四 54

とさのくに (土佐國) 三 14

土佐國 トサノクニ 三 14

とし (歳・年) 二 6 三 8 17

歳 トシ 二 6 三 8 17

年 トシ 一 7 20

とづ (閉) 三 38

閉 トヂ 三 38

閉と 二 109

とて 《助詞》 四 4

とて 二 2 四 54 56 63

とて 《副詞》 二 2 四 54 56 63

度々 四 16  
 ととのふ (調) 四 50  
 調けり  
 とどむ (留) 四 84  
 留たまふ  
 ととむるに 四 53  
 ととむる 四 85  
 とにもかくにも 《副詞》  
 左も右も 四 83  
 との (殿) ↓つきのわどの・  
 つきのわどの  
 殿 一 12  
 とぶらぶ (訪) 一 15  
 訪て  
 とぼそ (樞) 四 33  
 樞  
 とほる (過) 四 43  
 過  
 とも 《接続助詞》 二 58 90  
 とも 《接続助詞》 一 8  
 ども 《接尾語》

とも 一 50 四 39  
 ともがら (徒・輩) 二 22  
 徒  
 ともから 二 32 45  
 輩  
 ともに 《連語》 四 11 88 五 25  
 ともに 二 44 102  
 共  
 とら (寅) 四 74  
 寅  
 とりべの (鳥部野) 五 10 12 17  
 鳥部野  
 とる (取) 二 100  
 とりての  
 取  
 な 四 26  
 ないだい (内題) 二 8  
 内題  
 なか (中) 二 43  
 中

ながえ (轅) 一 34  
 轅  
 なかのさいのこほり (那荷西郡) 四 59  
 那荷西郡  
 ながら 《助詞》  
 なから 一 42  
 ながをか (長岡) ↓のちのな  
 がをかだいじん  
 なし 《形容詞》  
 なかりき 四 61  
 なし 二 34 69 87 94 97 四 25  
 72 五 5 16  
 無 三 6  
 無 (止)  
 なかれ 一 75  
 なす (成) 四 12  
 成つ  
 なす 二 35  
 などが 《副詞》 二 88  
 なにか 一 66  
 なに (何)

なにがし (何某) 四 60  
 なにかし  
 なにごと (何事) 二 43 63  
 何事  
 なふ (納) 一 34  
 納  
 なほ 《副詞》  
 なを 一 67 二 22 五 18  
 なほざねにふだう (直實入道)  
 直實入道 二 62  
 なみだ (涙) 四 22  
 涙  
 なむがく (南岳) 一 15  
 南岳  
 なむぼく (南北) 三 3  
 南北  
 なもあみだぶち (南無阿弥陀佛) 二 8 11  
 南無阿弥陀佛  
 ならひ 四 38  
 ならひ  
 ならびに 《副詞》

ナラヒニ 二 8 60 三 10 13

なり 《助動詞》 ↓ しかのみな

らず

なりし 四 28

ナリ 《止》 一 4

ナリ 《止》 一 6 11 12 39 51

二 16 18 20 23 24 三 12 四

28 29 64 70 73

ナリ 《止》 一 11 左 二 30

左 30 左 32 左 32 左 35 左

三 9 左 四 54 左 54 左 71

なり 《止》 一 25 67 69 79

二 38 57 100 105 109 四 48 82

86 五 30

也 《止》 一 62 二 96 97 101

也と 二 64

なりと 二 84

なりとて 三 2 四 55

なる 二 101

ナル 五 22

なれとも 一 8

なれは 一 60 二 103 五 9

なんぎやう (難行)

難行 一 23

なんぎやうだう (難行道)

難行道 二 39

なんぞ (何) 四 46

何 四 46

に 《格助詞》

に 一 7 7 9 10 10 18 20 21

二 7 7 9 10 10 18 20 21

三 7 7 9 10 10 18 20 21

四 7 7 9 10 10 18 20 21

五 7 7 9 10 10 18 20 21

六 7 7 9 10 10 18 20 21

七 7 7 9 10 10 18 20 21

八 7 7 9 10 10 18 20 21

九 7 7 9 10 10 18 20 21

一〇 7 7 9 10 10 18 20 21

一一 7 7 9 10 10 18 20 21

一二 7 7 9 10 10 18 20 21

一三 7 7 9 10 10 18 20 21

一四 7 7 9 10 10 18 20 21

一五 7 7 9 10 10 18 20 21

に 《接続助詞》

に 一 24 28 50 71 72 二 26 42

三 19 四 10 15 17 20 21 33

五 36 39 45 51 53 64 84 五 28

六 71 71 二 6 18 44 三 6

七 9 9 10 11 11 13 四 79

八 6 9 9 10 11 11 13 四 79

九 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一〇 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一一 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一二 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一三 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一四 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一五 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一六 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一七 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一八 6 9 9 10 11 11 13 四 79

一九 6 9 9 10 11 11 13 四 79

二〇 6 9 9 10 11 11 13 四 79

二一 6 9 9 10 11 11 13 四 79

二二 6 9 9 10 11 11 13 四 79

二三 6 9 9 10 11 11 13 四 79

ニ 《助動詞》 二 10 五 1

には 《連語》 ↓ に・は

にふる (入路)

入路 四 69

にぼさち (二菩薩)

二菩薩 一 69

にも 《連語》 ↓ に・も

にやくがじやうぶち (若我成佛)

若 我成 佛 二 12

にやくふしやうじや (若不生者)

若 不生 者 一 13

によぼむ (女犯)

女犯 一 37

によらい (如来)

如来 一 70

如來 四 69

ぬ

ぬ 《助動詞》

に 一 110 四 20

又 一 48 二 16  
ぬ 四 35 五 7 13  
ぬきんづ (抽) ヌキムツ  
抽る ヌキムツ 五 25  
抽て ヌキムツ 四 44

ね

ねむごろなり (懃) ネムコロニ

懃 二 37

ねむぶち (念佛) ネムフチ

念佛 一 50 二 71 三 8 18

念佛

四 88 五 7

ねむぶちばう (念佛房) ネムフチハウ

念佛房 二 80

ねんねん (年年) ネン

年々 五 26

ねんねんさいさい (年年歳歳) ネンネンサイサイ

年々歳々 四 52

の

の 《助詞》 ↓ いなだのがう・えちこのくに・おほぶのがう・ごとぼのるん・とさのくに・さどのるん・つきのわのとの・つちみかどのるん・のちのながをかだいじん・なかのさいのこほり・ひたちのくに・ふじぬのもとひこ・ふじぬのよしさね・までのこうぢ・をかざきのちうなごん

の 一 2 3 3 5 5 6 9 9  
— 2 3 3 5 5 6 9 9  
11 12 15 16 17 18 19 20  
21 21 23 24 25 26 27 28 30  
33 33 34 35 40 42 44 46  
46 50 51 54 55 57 60 61 62  
66 67 68 68 69 70 72 73 74  
75 78 二 1 68 69 70 72 73 74  
29 30 31 32 1 2 25 26 28  
44 45 46 48 49 50 51 54 55  
56 57 59 61 64 66 67 69 70  
71 74 75 76 79 82 86 86 92  
93 94 99 99 100 101 102 102 104  
106 三 2 3 15 18 18 5 5  
7 9 11 11 12 17 18 22 23  
30 32 32 32 33 36 38 39 44  
44 30 11 11 12 17 18 22 23

ノ 一 2 3 4 4 5 5 6 11  
右 11 11 11 11 11 11 左  
12 14 31 31 31 32 41 51 二  
5 5 5 6 8 9 9 10 11  
15 15 28 左 28 左 32 左 32  
左 60 二 4 5 6 6 7 7  
8 12 13 17 17 19 四 7 左  
26 51 左 53 左 53 左 55 62  
63 66 88 左 5 9 9 10  
10 12 12 17 17 19  
、(ノ) 一 12  
□□ 一 4  
之' 二 8 10 14 16 18 18 20  
20 23 24 24 24 三 9 13 18 20  
之 二 21 22 五 31 34 35  
のう (能) 一 37  
能<sub>ウ</sub> 一 37  
のがる (遁) 一 40  
遁<sub>ノカレ</sub> 一 40  
のす (載) 一 67  
書載<sub>カキノセ</sub> 一 67

のせたまふ 一 72  
のぞく (除く) 一 13 左  
ノソク 一 13 左  
のたまはく (言) 一 36 39  
言<sub>ノタマハク</sub> 一 36 39  
のたまはく 二 55 63 78  
のたまふ (言) 四 68  
言<sub>ノタマフ</sub> (止) 四 68  
のち (後) 一 51  
後<sub>ノチ</sub> 一 51  
のちのながをかだいじん (後) 一 4  
長岡大臣<sub>ノチノナカオカタイシン</sub> 一 4  
後 長岡大臣  
のぶ (述) 一 27  
のへたまふに 一 27  
のふ 五 4  
のふる 二 69  
のみ (而已) 五 35  
而已 五 35  
のりつな (範綱) 一 11  
範綱<sub>ノリツナ</sub> 一 11  
のりみつ (範光) 三 17  
範光<sub>ノリミツ</sub> 三 17

は

は 《助詞》

は 一 2 58 60 64 二 2 3 42

56 82 89 92 99 102 107 107 四 11 11 73 五 8

ハ 一 39 二 17 三 12

には 四 76

ば 《助詞》

は 一 43 60 66 二 91 103 四 65

66 五 9

ハ 三 4

はいしよ (配所)

配所 一 64 65 三 14 15

はいたいす (廢退す)

廢退す 三 1

ばう (房) ↓しやうしんば

う・せいぐわんばう・ぜんしんばう・ねむぶちばう・ほぶりきばう・みやうほふばう

はうめい (芳命)

芳命 一 41

はかりなし 《形容詞》

はかりなき 一 81

はくらん (博覧) ↓しむちは

くらん

はくりく (博陸)

博陸 二 17

はこね (箱根)

箱根 四 31

はこぶ (運)

運て 五 26

はず (馳)

馳 (用) 五 32

はた (幡多)

幡多 三 14

はぢ (恥)

恥 五 34

はちにち (八日) ↓だいはち

にち

はなはだ 《副詞》

甚 二 22

はなはた

はなはた 二 38

はなぶさ (萼)

萼 二 29

はべる (侍)

侍らんか 二 50

侍りし 二 97

侍るへしと 二 74

侍る 二 81

侍ると 四 40

侍るに 四 39

はや (早) 四 34

はや 四 34

はる (春) 一 11 19

はるかなり (遥) 四 32

遥 四 32

はるかに 五 9

はん (反) 四 15 左

はん 四 15 左

ばんいん (晩陰) 四 31

晩陰 四 31

はんえんせうなごん (範宴少納言) 一 14

範宴少納言 一 14

はんじやう (繁昌) 一 50

繁昌 一 50

はんず (判) 四 79

ひ

ひ (日)

日 二 9 15 20

ひき (悲喜)

悲喜 二 24

ひく (引)

ひかれて 一 20

ひぐれ (日暮)

ヒクレ 四 31 左

ひげ (鬢)

ヒケ 一 13 左

ひごろ (日者)

日者 四 23

ひさし 《形容詞》

久 三 5

ひそかに 《副詞》

竊 三 4

ひたちのくに (常陸國)

常陸國 四 1 9 59

ひち (弼)

弼 一 5

ひち (筆) ↓(一)ひち  
 ひちとくわつじやう (必得  
 往生)  
 必得往生  
 ひと (人)  
 人  
 人  
 ヒト  
 ヒト  
 ひとし 《形容詞》  
 ひとしからんとも  
 ひとしと  
 ひとしかるへきと  
 ひとしくす (等)  
 ひとしくして  
 ひとたび (一度)  
 一たひ  
 ひとつ (一)  
 ひとつ  
 一  
 一  
 ひとびと (人人)  
 人々  
 人々  
 人々

ひとへに 《副詞》  
 ひとへに  
 偏  
 偏  
 ひのとう (丁卯)  
 丁卯  
 ひぶちこむげん (彼佛今現)  
 彼佛今現  
 ひべう (紙繆)  
 紙繆  
 ひぼむ (被犯)  
 被犯  
 ひむがし (東)  
 ヒムカシ  
 東  
 ひむがしやま (東山)  
 ヒムカシヤマ  
 東山  
 びやくれんぐゑ (白蓮花)  
 ヒヤクレンクヱ  
 白蓮花  
 ひらく (披・發)  
 ヒライ  
 披て  
 發へかりし  
 ヒラク  
 ひろし 《形容詞》

ひろく  
 ひろふ (拾)  
 拾て  
 拾  
 ひろむ (広)  
 ひろめたまひしに  
 ひろめたまふに  
 ひろむるに  
 びんほつ (鬢髮)  
 鬢髮  
 ふ (曆・經)  
 曆て  
 經  
 ぶいむ (無音)  
 無音  
 ぶかし 《形容詞》  
 ぶかく  
 深し  
 ぶかき  
 ぶかき

ぶがふす (符合)  
 符合せりと  
 ぶくむ (含)  
 ぶくめり  
 ぶささき (房前)  
 房前  
 ぶし (武士)  
 武士  
 ぶしぎ (不思議)  
 不思議  
 ぶじはらうじ (藤原氏)  
 フチハラウチ  
 藤原氏  
 ぶしやう (浮生)  
 フシヤウ  
 浮生  
 ぶしゆしやうがく (不取正覺)  
 フシユシヤウガク  
 不取正覺  
 ぶじゐのよしぎね (藤井善信)  
 フチキノヨシヒコ  
 藤井元彦  
 藤井善信  
 ぶす (臥)  
 フシ  
 臥したまひて  
 ぶぞくす (咐囑)

附嘱し フソクシ 四七  
 附嘱シ フソクシ 四八  
 附嘱す フソクス 四八  
 ふたごころ (二) フタゴコロ 六一  
 ぶち (佛) フチ 二一  
 ぶち (佛) フチ 二一  
 ぶちおん (佛恩) フチオム 二一  
 佛恩 フチオム 二一  
 ぶちかく (佛閣) フチカク 五三  
 佛閣 フチカク 五三  
 ぶちけう (佛教) フチケウ 五三  
 佛教 フチケウ 五三  
 ぶちじよう (佛乘) フチシヨウ 一六  
 佛乘 フチシヨウ 一六  
 ぶちほふ (佛法) フチホフ 一七  
 佛法 フチホフ 一七  
 ぶちみやう (佛名) ↓いちぶ フチミヤウ 一七  
 ちみやう フチミヤウ 一七  
 ぶふう (扶風) フフウ 四四  
 扶 (平) 風 (平) フフウ 四四  
 ぶむ (踏) フム 四四

踏 フミ 四九  
 ふもと (麓) フモト 五〇  
 麓 フモト 五〇  
 ふゆ (冬) フユ 五〇  
 冬 フユ 五〇  
 ふよく (馮翊) フヨク 五〇  
 馮 (平) 翊 (入) フヨク 五〇  
 馮翊 フヨク 五〇  
 ふれい (不例) フレイ 五二  
 不例 フレイ 五二  
 ぶん (文) ブン 五二  
 文 ブン 五二  
 ぶんえい (文永) ブンエイ 五二  
 文永 ブンエイ 五二  
 ぶんぼ (憤慕) ブンボ 五二  
 憤慕 ブンボ 五二  
 へ ヘ 五二  
 へ 《助詞》 ヘ 五二  
 へいえん (炳焉) ヘイエン 五二  
 炳焉 ヘイエン 五二

へいか (陛下) ヘイカ 二〇  
 陛下 ヘイカ 二〇  
 へいたらう (平太郎) ヘイタラウ 二〇  
 平太郎 ヘイタラウ 二〇  
 へうえい (苗裔) ヘウエイ 二〇  
 苗裔 ヘウエイ 二〇  
 へうじ (表事) ヘウジ 二〇  
 表事 ヘウジ 二〇  
 へうだう (廟堂) ヘウダウ 二〇  
 廟堂 ヘウダウ 二〇  
 べし 《助動詞》 ベシ 二〇  
 へからす ヘカラス 二〇  
 へからさるそや ヘカラス 二〇  
 へかりし ヘカリス 二〇  
 へしと ヘシト 二〇  
 可 ヘシ 二〇  
 へしとも ヘシトモ 二〇  
 へしとて ヘシトテ 二〇  
 へきなり ヘキナリ 二〇  
 へきと ヘキト 二〇  
 へき ヘキ 二〇  
 へんしう (辺州) ヘンシウ 二〇

へんひ (辺鄙) ヘンヒ 二〇  
 邊鄙 ヘンヒ 二〇  
 へんふす (遍布) ヘンフス 二〇  
 遍布して ヘンフス 二〇  
 ほう (蓬戸) ホウ 二〇  
 蓬戸 ホウ 二〇  
 ほうしや (報謝) ホウシヤ 二〇  
 報謝 ホウシヤ 二〇  
 ほうでん (寶典) ホウテン 二〇  
 寶典 ホウテン 二〇  
 ほうど (報土) ホウト 二〇  
 報土 ホウト 二〇  
 ほうびす (保美) ホウビ 二〇  
 保美 ホウビ 二〇  
 ほか (外) ↓このほか ホカ 二〇  
 ほか ホカ 二〇  
 ぼさち (菩薩) ↓ぐぜぼさ ボサチ 二〇  
 ち・にぼさち ボサチ 二〇  
 ほじ (晡時) ホジ 二〇



晡時	57	ほふりき (法力) ↓しやみほ	ホソクワン 本願	170	申侍りし	297
ほちきす (發起)	91	ふりき	ホソクワン 本願	216	申たりしに	84
ほちきす (發起)	91	法力	ホソクワン 本願	16	申けり	3
ほど (程)	49	ほふりきばう (法力房)	ホソクワン 本願	49	申也	97
ほと	41	ほふれんしやうにん (法蓮上人)	ホソクワン 本願	49	申は	99
ほごす (施)	22	法蓮上人	ホソクワン 本願	87	申に	19
ほとこしたまはすは	58	ほむぐ (凡愚)	ホソクワン 本願	76	まうちのみみ (公卿)	28左
ほとり (邊)	8 10 12 19	ほむけう (稟教)	ホソクワン 本願	45	まく (卷)	109
ほふ (法)	9	ほむぶ (凡夫)	ホソクワン 本願	45	まことに (副詞)	19
ほふいんくわしやうゐ (法印和尚位)	60	ほりわたす (堀渡)	マウク 儲	45	まことに (副詞)	19
ほふし (法師) ↓ぐんくう	60	ほん (本)	まうす (申)	87	まさし (形容詞)	91 36
ほふし	60	ほんい (本意)	申さるゝ	87	まさしく	98
ほふしやうじ (法性寺)	12	ほんくわい (本懷)	申さるゝへき	89	まじはる (交)	40
ほふみやう (法名)	17	ほんぐわん (本願)	申さむ	90	ましわりつるか	40
			申	63	まじふ (交)	3
			申	10	ましへ	3
			申たまはく	39	まします (坐)	47
			申	62	ましまさん	30
			申て	88	ましくけり	32
					ましくき	

まし／＼けり 四31  
 マシマス 二28左 28左  
 まします 五2  
 ますます 《副詞》 五21  
 ます／＼  
 また 《接続詞》 一68 二101  
 又  
 また 《副詞》 一63 五32 38  
 又  
 また 一64 四24  
 又  
 また 二15 四77  
 またし 《形容詞》  
 またく 二94  
 まちほふ (末法) 四65 67  
 末法  
 まちりう (末流) 五23  
 末流  
 まづ 《副詞》 二29  
 先  
 まつりごと (政) 二28  
 政  
 マツリゴト 四88左  
 までのこしぢ (万里小路)

万里小路 五9  
 まどふ (迷) 三6  
 迷  
 まのあたり (親) 二37  
 親  
 まへ (前) ↓おむまへ  
 まぼろし (幻) 四52  
 幻  
 まもる (守) 二38  
 守 (体)  
 まよひやすし 《形容詞》 一23  
 まよひやすきに  
 まれ (希) 二38  
 まれ  
 まれうど (客人) 四43左  
 マレウト  
 まるる (参) 二107  
 まいらむ 二107  
 まいらせたまはし 一21  
 参たまひき  
 参  
 参たるに 四64  
 参

まいるへしと 二66  
 まんしや (万差) 四64  
 万差  
 まんぞくす (満足) 四6  
 満足す  
 み  
 みういちにん (未有一人) 四68  
 未有一人  
 みぎ (右) 三18  
 右  
 右  
 みぎり (砌) 二29 51  
 砌  
 みこ (命) 一3  
 命  
 みだう (御堂) 一42  
 御堂  
 みだりがはし 《形容詞》 三11  
 猥  
 みち (路) 四30 43 58 五9  
 路

みつ (満) 五8  
 満たまふ  
 みづのえいぬ (壬戌) 五1  
 壬戌  
 みづのえさる (壬申) 五17  
 壬申  
 みな (皆) 二59 71 三16  
 みな  
 皆  
 みなみ (南) 五9 10  
 南  
 みやう (名) 二16  
 名  
 みやうじ (名字) 二3  
 名字  
 みやうにち (明日) 二53  
 明日  
 みやうほふばう (明法房) 四28  
 明法房  
 みやこ (都) 四53左 53左  
 ミヤコ  
 みゆ (見) 一45  
 みゆ

みる (見)	見 <small>ミル</small>	二 19	夢想 <small>ムサウ</small>	一 32 49	めちご (滅後)	滅後 <small>メチゴ</small>	五 15	もとも (副詞)	もとも <small>モトモ</small>	二 53
みれは	無上 <small>ムシヤウ</small>	一 43	むじやう (無上)	二 20	めんじゆ (面受)	面受 <small>メンシユ</small>	四 57	尤	尤 <small>モトモ</small>	四 48
みろく (弥勒)	結 <small>ムスビ</small>	二 44	むすぶ (結)	二 44	めんめん (面面)	めんめん <small>メンメン</small>	二 51 109 五 26	もの (者)	者 <small>モノ</small>	二 19
弥勒 <small>ミロク</small>	結 <small>ムスビ</small>	三 9	むつび (睦)	二 35 左	も			ものうし (形容詞)	ものうし <small>モノウシ</small>	四 53
む	ムツヒ		むね (旨)	二 26	も			もはら (副詞)	もはら <small>モハラ</small>	四 61
む 《助動詞》	むね (旨)		むま (午)	五 5	も 《助詞》			もはら (副詞)	もはら <small>モハラ</small>	四 61
ん (止)	旨 <small>ムネ</small>		め		をも	一 7 8 二 49		もはら (副詞)	もはら <small>モハラ</small>	四 61
ん (止)	午 <small>ムマ</small>				も	一 54 54 二 73 91 95 96 103		もはら (副詞)	もはら <small>モハラ</small>	四 61
ん (体)		一 25 61 79 二 50			にも	二 29 31 四 41 41 75 77		もよほす (催)	もよほす	一 10
90 106		二 22 四 18 86 90			もし 《副詞》	88 89		もる (漏)	もる (漏)	二 65
む (体)		一 47 107 四 63 88			もし	一 58 63 65		もるへからす	もるへからす	二 65
ム (体)		二 52			もて (以)			もん (文)	もん (文)	二 65
め	銘 <small>メイ</small>	二 92	めい (銘)	二 11	もて (以)			もん (文)	もん (文)	二 65
むかし (昔)	めいしむ (迷心)	二 69	めいしむ (迷心)	二 69	もて (以)	一 9 11 15 22 三 7 12		もんえふ (門葉)	もんえふ <small>モンエフ</small>	一 46 四 74 80
むかし	迷心 <small>メイシム</small>	二 69	めいもん (明文)	四 69	もて (以)	三 18		もんこ (門戸)	もんこ <small>モンコ</small>	二 75 五 23
ムカシ	めいもん (明文)	四 69	めくらす (巡)	二 34	もて (以)	二 31		もんぜん (門前)	もんぜん <small>モンゼン</small>	三 6
昔 <small>ムカシ</small>	めくらす (巡)	二 34	めぐらし	二 34	もとひこ					
むかふ (向)					もとひこ					
むかふに					もとひこ					
むなづ (夢想)					もとひこ					

門前 モンゼン 二 34  
 もんてい (門弟) モンテイ 五 13  
 もんと (門徒) モント 二 68 三 10 四 16 五 57  
 門徒 モント  
 もんりよ (門侶) モンリョ 二 59  
 門侶 モンリョ  
 や ヤ 一 65  
 哉 ヤ 二 43  
 哉 ヤ 二 63  
 哉 ヤ 四 75  
 そや ソヤ 四 81  
 やう (様) ヤウ 四 38  
 やう ヤウ  
 やうかうす (影嚮) ヤウカウ 四 46  
 影嚮したまへり ヤウカウ  
 やうふ (養父) ヤウフ 一 11  
 養父 ヤウフ

やうやく 《副詞》 ヤウヤク 四 33  
 漸 ヤウヤク  
 やから (族) ヤカラ 二 38 四 11  
 族 ヤカラ  
 やさん (射山) ヤサン 一 7  
 射山 ヤサン  
 やすし 《形容詞》 ヤスシ 二 19  
 易 ヤスシ  
 やま (山) ヤマ 一 46 四 15 五 12  
 山 ヤマ  
 やまぶし (山臥) ヤマブシ 四 12  
 山臥 ヤマブシ  
 やむ (止) ヤム 二 110  
 やみにけり ヤミ  
 やや 《副詞》 ヤヤ 一 72 四 22  
 良 ヤヤ  
 ややもすれば 《副詞》 ヤヤ 四 12  
 動は ヤヤ  
 ゆ ユ 四 68 七 0  
 ゆいじやうど (唯有淨土) ユイジヤウト  
 唯有淨土 ユイウシヤウト

ゆいくん (遺訓) ユイクン 五 21  
 遺訓 ユイクン  
 ゆいこち (遺骨) ユイコチ 五 11 19  
 遺骨 ユイコチ  
 ゆく (行) ユク 四 19  
 行て ユク  
 ゆめ (夢) ユメ 一 41 四 8 二 15 四 41 52  
 夢 ユメ  
 ユメ ユメ 四 7 左  
 ゆらい (生来) ユライ 二 24  
 由来 ユライ  
 ゆゑ (故・以) ↓ そのゆゑ ユヱ 一 101  
 ゆへ ユヘ  
 よ ヨ 二 22 二 26  
 よ (世) ヨ  
 世 ヨ  
 よ (夜) ヨ 一 31 四 33  
 夜 ヨ  
 よ (予) ヨ 二 39 三 12  
 予 ヨ  
 よくじつ (翌日) ヨクジツ 四 39

翌日 ヨクシチ 二 54  
 よくよく 《副詞》 ヨクヨク 二 108  
 よく ヨク  
 よこん (餘言) ヨコン 五 4  
 餘言 ヨコン  
 よし (由) ヨシ 三 3  
 よし ヨシ  
 よし ヨシ 四 63  
 由 ヨシ  
 よしざね (善信) ↓ ふじゐの ヨシザネ 二 44 四 58  
 よしざね ヨシザネ  
 よしざね ヨシザネ  
 よしみ (好) ヨシミ 一 21 五 19  
 好 ヨシミ  
 よしみづ (吉水) ヨシミヅ 四 49  
 吉水 ヨシミヅ  
 よそほふ (粧) ヨソオヒ 四 36 左 五 7 左  
 粧 ヨソオヒ  
 よほひ (齡) ヨホイ 四 36 左  
 ヨホイ ヨホイ  
 よも 《副詞》 ヨモ 二 107  
 よも ヨモ  
 よもずがら 《副詞》 ヨモスカラ 四 39  
 夙夜 ヨモスカラ

より 《助詞》

自ヨリ 一 14 五 2

より 一 52 54 54 二 41 42 93

95 102 四 1 五 1 18

よりう (餘流)

餘流ヨリウ 一 17

よりにて 《連語》

よりにて 一 10 24 56 72 三 1

四 84

由ヨテか 一 66

因ヨテ 一 71 三 9 四 79

由ヨテ 一 71

依ヨテ 二 15 17

仍ヨテ 一 24 66 四 18 五 28

□(よ)りて 四 80

よりより 《副詞》

時ヨリ々 四 13

よりある (寄居) 四 13

寄ヨリる待ると 四 40

よる (寄) ↓あゆみよる 四 40

よろこび (喜・悦) 二 43

喜ヨロコビ 二 43

悦ヨロコビ

二 43

ら

ら (等)

等ラ 三 13 四 57

らいしす (来至)

来ライ至シす 一 57

らいりむ (来臨)

来ライ臨リン 一 53

来臨ライリン 二 53

らういん (良因)

良ライ因イン 二 43

らうせう (老少)

老ラウ少セウ 五 26

らうにやく (老若)

老ラウ若ニヤク 五 14

らくと (洛都)

洛ラク都ト 三 6

らくやう (洛陽)

洛ラク(入ヤウ陽ヤウ) (平) 四 53

洛陽ラクヤウ 五 10

らる 《助動詞》

らる 《助動詞》

被ラレテ 一 51 二 73 99 四 6 42 64

られたまはすは 一 64

られ 二 54

ラレシ 三 11

らるへき 一 108 三 3

らるゝ 二 64

らるうす (羅縷)

羅ラ縷ウスルに 五 28

らん (鸞)

鸞ラン 二 5

鸞上人ランシヤウニン 三 14

り

り (理)

理リ 一 16

り 《助動詞》

りと 一 45 四 8

り 一 75 二 77 四 46

る 一 47 四 25

りしやう (利生)

利リ生シヤウ 一 9

りち (理致)

りち (理致)

理致リチ 一 27

りむじゆ (臨終)

臨リム終シュ 一 38

りやうしゆ (領主)

領リヤウ主シュ 四 89

りやうほう (兩方)

兩リヤウ方ハウ 二 56

りやく (利益)

利リヤク益 四 5

りやくす (略)

略リヤクス 三 16

略する 五 29

りようこむ (楞嚴)

楞リヨウ嚴コム 一 16

る 《助動詞》

る 《助動詞》

れて 一 20

れしによりて 一 56

レ 四 62 89 左

るへきなり 二 57

るゝ 二 87

るけい (流刑)

六 一五三 四

わが (我・吾)

わたり (辺)

流刑

一六三

ろくかくだう (六角堂)

一三二

我 一三九 二七九 四四二

わたり

四五五

るざい (流罪)

六角堂

一三二

吾 一五五

わたる (涉)

流罪

一三六

ろくだい (六代)

一五

わか 一八六 一〇五 一〇七

涉

二二〇

るつう (流通)

六代

一五

ワカ 四七十一 左

涉

二二〇

流通

四七五

ろんじゆ (論主)

四七九

わかさ (若狭)

一七右

われ (我) ↓が

一六四 一六五 一六九

論主

四七九

ワカサカミ 一七右

われ

一六四 一六五 一六九

れ

わ

ゐ

れいくゐやう (齡傾)

齡傾

四三六

わうごむ (黄金)

二二九

わかたるへきなり

二五七

ゐす (違)

三九

れいち (靈地)

靈地

四八九

わうじ (往事)

四五一

わく (分)

二六

ゐる (居) ↓よりゐる

三九

れいみん (黎民)

黎 (平) 民 (平)

二三二

わうじやう (往生)

四五一

わくわう (和光)

二六四

ゐん (院) ↓ごとのゐん・さどのゐん・つちみかどのゐん

れき (曆)

曆

一一九 二五

わうせん (横川)

四七三

わしる (趨)

四八四

ゐん

れんぼ (恋慕)

恋慕

一五五

わうへんす (往反)

一七

わたくし (私)

一七

ゐいぐわ (榮花)

恋慕

一五五

わうへんす (往反)

一七

わたくし 二九四 四七二

ゐいぐわ (榮花)

ろ

わうむ (往夢)

四一五

わたす (渡) ↓ほりわたす

一五六

ゐつ (畫圖)

一八

ろく (六)

往夢

四一七

わたされしによりて

一五六

畫圖

五一

在んせう (圓照) 一  
エンセウ  
 圓照 二  
エンセウ  
 在んゆ (圓融) 一  
エンユ  
 圓融 18  
 を 一  
 を 13  
 をも 15  
 を 16  
 を 17  
 を 26  
 を 27  
 を 27  
 を 29  
 を 49

85 57 42 17 3 109 59 39 30 77 58 30  
 86 57 43 24 4 109 64 40 30 79 59 34  
 87 58 44 25 7 三 67 41 31 二 61 34  
 88 58 44 26 10 18 68 43 33 2 62 40  
 90 61 49 26 12 19 72 44 33 2 66 43  
 五 63 50 26 13 20 76 45 34 3 70 46  
 3 71 51 27 13 22 76 47 35 4 73 49  
 4 76 53 30 14 四 81 52 37 26 74 49  
 4 84 56 32 17 3 93 56 38 28 76 56

在る (終・了) 三  
ヲカサキノ  
 岡崎 17  
チウナウコン  
 中納言 三  
 をかざきのちうなごん (岡崎) 四  
ヲヤ  
 哉 75  
 フ 12  
 フ 13  
 フ 16  
 フ 三  
 フ 三  
 フ 16  
 フ 13  
 フ 16  
 フ 16  
 フ 四  
 フ 78  
 フ 五  
 フ 25  
 フ 左  
 フ 11  
 フ 11  
 フ 23  
 フ 11  
 フ 24  
 フ 15  
 フ 11  
 フ 24  
 フ 15  
 フ 20  
 フ 二  
 フ 6  
 フ 6  
 フ 7  
 フ 25  
 フ 9  
 フ 26  
 フ 9  
 フ 29  
 フ 11  
 フ 20  
 フ 24  
 フ 11  
 フ 25  
 フ 15  
 フ 15  
 フ 18  
 フ 19  
 フ 20

遠流 三  
オムル  
 をんる (遠流) 11  
 をも ↓ を・も 48  
 をはると 37  
 了 (用) 5  
 終 (用) 37  
 をはりぬ 13  
 了 57  
オハリヌ  
 了 16  
 終さる 48  
ヲハラヌ  
 終さる 二  
 終さる 45